

指導方法等の改善計画について〔数学科〕

尾道市立日比崎中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.7%, 県 70.4%)

対県比 101.4 %

学力定着実態調査 本年度正答率

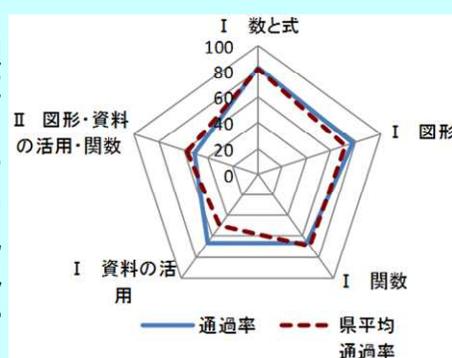
本校 71.0 %
全国 68.5 %

対全国比 103.6 %

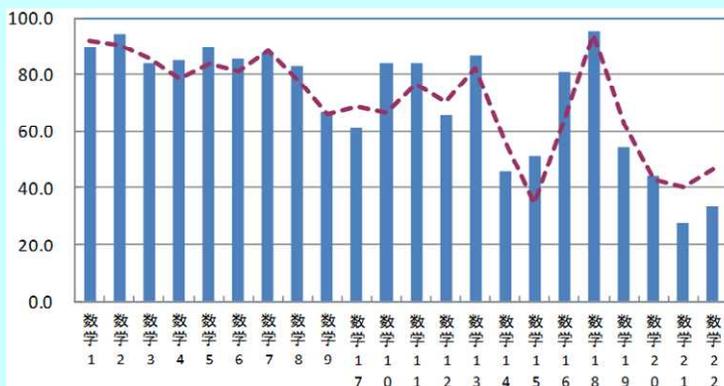
本年度の結果について

○タイプⅠは77.9%, タイプⅡは50.9%の通過率となっている。
○この結果から、基礎的・基本的な内容についてはおおむね定着が図られていると考えられるが、知識・技能を活用する問題や考え方を記述する問題の通過率が低く、特に関数領域の問題に課題がある。

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題
本校 74.3 %
全国 64.4 %
県 64.6 %

B問題
本校 55.3 %
全国 41.6 %
県 42.7 %

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 105 %

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ・比例のグラフの特徴が理解できていない。33%の生徒が特徴の一部を記述し、説明が不十分である。(通過率 27.6%)
- ・問題解決の方法について考え、記述することができていない。17%の生徒が無回答である。(通過率 33.3%)

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ・垂線の作図で利用されている図形の性質が理解できていない。(正答率 64.6%)
- ・△ABCの平行移動が理解できていない。(正答率 52.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査

- ・比例の具体事例を扱い、対応表をつくらせ、ともなって変わる様子や $x \cdot y$ 2つの数量の関係を考察させる。対応表から、グラフをかかせ、比例のグラフの特徴を見つけさせる。
- ・個人思考→グループ→全体の順で気づきをまとめ、話し合い発表させる活動を仕組む。

【課題2】全国学力・学習状況調査

- ・平面図形の基礎知識を習得させる。

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		1・2年生 単元確認テスト		2年生 定期テスト		1・2年生 H27「基礎・基本」	1年生 学年末テスト
目標値		60.0%				70.0%	80.0%
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		習熟度テスト		習熟度テスト			
目標値		75.0%		75.0%			
実施後数値							